

サービス評価の目的

サービス評価の目的は、評価作業の一連の過程を事業所が主体的に取り組み、評価結果をもとに具体的な改善や情報公開等に活かして、良質なサービスの水準を確保し、向上を図っていくことです。

評価調査員が定期的に訪問し、一定の評価項目に基づいて実態を調査点検し、事業所と改善点を明らかにすることを通して、以下の点を達成していくことを目的としています。

- ① 利用者及び家族の安心と満足を図ること
- ② ケアサービスの水準を一定以上に維持すること
- ③ 改善点を明確にし、改善に向けた関係者の自発的努力と体制づくりを促すこと
- ④ 継続的に評価を行うことを通じて、関係者による自発的な研修等によるケアの向上を促す教育効果をねらうこと
- ⑤ グループホームに対する社会的信頼を高めること

自己評価のポイント

各項目にそって、何をどのように取り組んでいるのか、何が取り組めていないのか、職員全員が実践状況を振り返ります。

外部評価のポイント

一律の基準を設けて実施しているか、否かを判断していくのではなく、項目のねらいにそって利用者本位の視点にたち、サービスの実施状況を確認していきます。

《地域密着型サービス評価項目》

項 目	項 目 数	
	自己評価	外部評価
I. 理念に基づく運営	14	7
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	8	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジマント	13	5
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	20	7
V. サービスの成果に関する項目	13	—
合 計	68	20